

アジアと日本の 発展に貢献する研究所へ

一般財団法人アジア太平洋研究所
所長 宮原 秀夫



ご挨拶

一般財団法人アジア太平洋研究所の宮原でございます。平素は弊所事業にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。また今回、寄稿の機会を頂き感謝申し上げます。

近年、様々な領域においてアジア太平洋地域の位置づけが高まる中、私共アジア太平洋研究所はこれからのアジア太平洋地域と日本・関西の持続的な発展に焦点をあてた研究所として2011年に大阪で設立されました。

観光やビジネスなどアジアと密接に繋がる関西に本拠を置き、関西からの視点で研究・提言を行い、政策立案やビジネス戦略策定に資することを目指しております。

『アジア太平洋と関西 ～関西経済白書～』の発刊

主な活動のひとつとして、毎年『アジア太平洋と関西～関西経済白書～』（和英）を発刊しております。これは、アジア太平洋と関西経済に関する足元の課題についての研究成果をまとめた書籍です。2022年版では、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻などにより深刻化する世界経済の混乱のなかで、世界秩序の歴史的な転換

点をテーマに、国際政治経済的観点からのアジア太平洋地域の課題と展望を取り上げました。また、2025年に開催される大阪・関西万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」をコンセプトとして世界中から人・モノ・英知が集まります。これらを万博後もレガシーとして活用することが肝要であり、その経済波及効果について、関西2府8県の地域産業連関表を基に、弊所が作成した2015年版地域間産業連関表を用いて算出しました。

自主研究プロジェクト

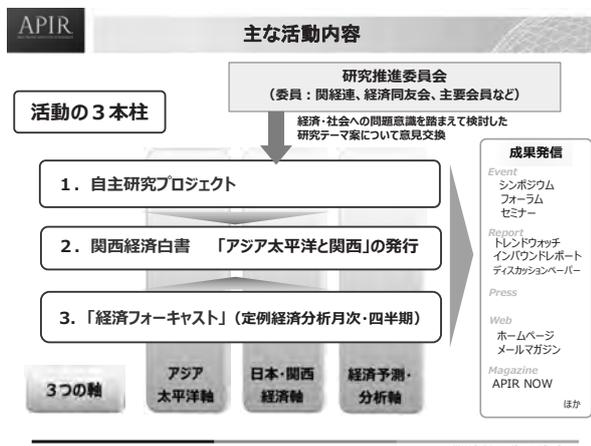
活動の柱の二つ目は、様々な研究プロジェクトへの取り組みがあります。「日本・関西経済」「アジア太平洋」「経済予測・分析」の三つの軸から研究テーマを設定しています。いくつかご紹介しますと、シンポジウム形式の「アジア太平洋地域の政治・経済的協力のあり方」研究では、世界情勢の激しい変化によるサプライチェーン分断という状況を踏まえて、ルールに基づく国際貿易秩序の重要性や経済安全保障について考察・議論を行います。

「持続可能なツーリズム先進地域・関西を目指して」研究では、回復が著しいインバウンド需要の状況下、国内外で進められている持続可

能なツーリズムへの指針づくりを踏まえ、地域ブランドの磨き上げやDMOの誘客分析などを試みています。

経済フォーキャスト

三つ目の主たる活動は、経済分析と予測です。弊所が独自に開発した経済予測モデルを用いて、会員、自治体、国の地方支分部局、並びに地域の商工会議所の機動的な施策や経営判断・評価に寄与することを目標にしています。四半期ごとに日本及び関西の足元から2、3年先までのGDP成長率を予測し提供します。また、月次でも四半期GDP成長率を予測し、内閣府より早く提供しています。さらに、半期ごとに、関西2府4県のGRPを早期推計し、公表しています（府県からの実績公表は年度終了後3年程度遅れます）。



研究活動のフレーム

研究成果の発信

弊所のミッションや研究成果等についてシンポジウムなどを開催し情報発信を行っています。なかでも、中央の著名エコノミストを招き、最新の日本・関西経済の見通し、および時宜に

かなったテーマを議論する景気討論会を毎年開催しており、昨年12月には、生産性と賃金上昇の同時実現に向けた方策をはじめ、今後の日本経済の景気好循環を探るべく熱い討論が行われました。



景気討論会(日本経済編) 2022.12.15

アジアと日本の発展に貢献

関西・日本経済について議論できる地域シンクタンクとして在関西外国領事や海外機関等との交流も行っています。昨年度はスイスの大統領と政府団の他、タイ王国経済担当領事はじめアジア各国の要人と情報や意見の交換を行いました。

また、アジアの有能な研究者や留学生を受け入れ、弊所研究活動の幅を広げるとともに、研究人材として育成を図ることで、弊所で学んだ人たちがやがては母国や国際社会において指導的立場で活躍するように巣立ってもらおうといった知的面での国際貢献も弊所の大切なミッションです。

弊所では今後ともアジア太平洋地域と日本、関西を俯瞰的にとらえる新しいシンクタンクとして様々な可能性を追求し、アジアと日本の発展に貢献していくフロントランナーとして努めてまいりたいと考えています。